

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 11 月 10 日 (2005.11.10)

【公表番号】特表 2001-521563 (P2001-521563A)

【公表日】平成 13 年 11 月 6 日 (2001.11.6)

【出願番号】特願 平 10-542320

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 K 5/34

C 0 8 L 101/00

C 0 9 B 67/22

G 0 2 B 5/20

【F I】

C 0 8 K 5/34

C 0 8 L 101/00

C 0 9 B 67/22 Z

G 0 2 B 5/20 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 28 日 (2005.3.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成17年3月28日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第542320号

2. 補正をする者

名称 チバ スペシャルティンケミカルズ ホールディング
インコーポレーテッド

3. 代理人

住所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-22-12 SVAX TS ビル
氏名 弁理士 (7866) 津 国 肇
電話 (3502) 7212

4. 補正対象書類名 請求の範囲



5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容 別紙のとおり

(別紙)

請求の範囲

1. 照射により放射線感受性前駆体から得ることができる、 $0.1\mu\text{m}$ 又はそれ以下の平均粒子サイズの顔料粒子を含む組織化着色された高分子量有機材料であって、

- ・有機材料が、着色された材料に基づいて、少なくとも5重量%の顔料粒子を含み、

そして

- ・同一色の範囲における顔料粒子の少なくとも80モル%が、2種の成分(a)及び(b)を含み、ここで

- ・(a)は、鏡像対称の又は点対称の、ジケトピロロピロール、ジオキサジン、イソインドリン、イソインドリノン及びビスアセチルアセトアミドアリーレン基含有ジスアゾ顔料（それぞれは、少なくとも1個の $-\text{NHCO}-$ 基を含む）からなる群から選ばれ、そして

- ・(b)は、ジケトピロロピロール、ジオキサジン、イソインドリン、イソインドリノン、ベンズイミダゾロンアゾ及びジスアゾ顔料（それぞれ、少なくとも1個の $-\text{NHCO}-$ 基を含む）、並びにフタロシアニン顔料からなる群から選ばれ、ここで

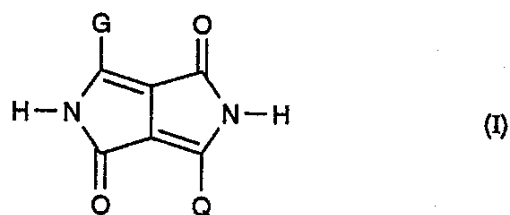
- －成分(b)は、成分(a)に対して等モル比以下で存在することができ、そして

- －成分(a)の分子が点対称であるとき、成分(b)は、3:7～1:

1の成分(a)に対するモル比で存在しなければならず、そして

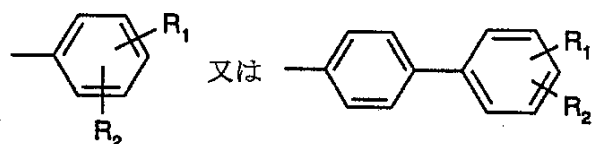
- ・顔料粒子の100モル%以下が成分(a)及び(b)からなるとき、20%に至るまでのバランスが1以上の成分(c)からなる、着色された高分子量有機材料。

2. 成分(a)が、式(I):



(式中、

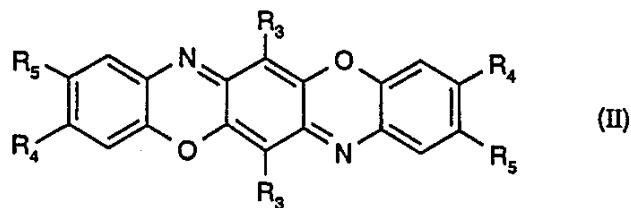
Gは、下記式：



の基であり、そして

R_1 及び R_2 は、それぞれ互いに独立して、水素、ハロゲン、シアノ、カルバモイル、ニトロ、トリフルオロメチル、フェニル、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_6$ アルキルチオ又は $C_1 \sim C_6$ アルキルアミノである) のピロロ[3, 4-c]ピロール類；

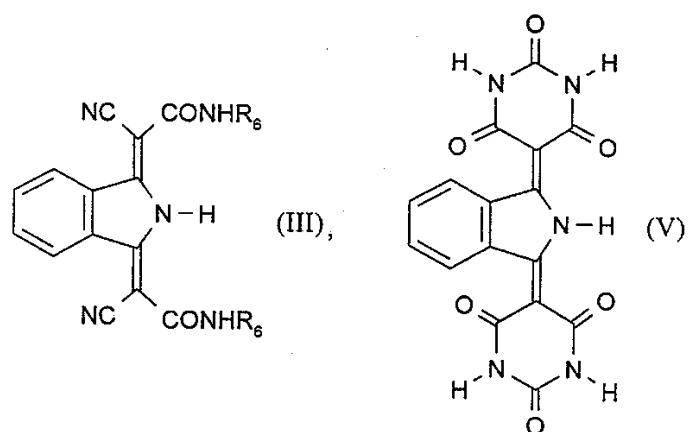
式 (II)：



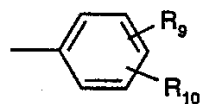
(式中、

R_3 、 R_4 及び R_5 は、それぞれ互いに独立して、水素、ハロゲン、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $NHCO C_1 \sim C_4$ アルキル又は $NHCO$ フェニルであり、基 R_3 、 R_4 及び R_5 の少なくとも一つは、 $NHCO C_1 \sim C_4$ アルキル又は $NHCO$ フェニルである) のジオキサジン類；

式 (III) 又は (V)：



(式中、 R_6 は、下記式：

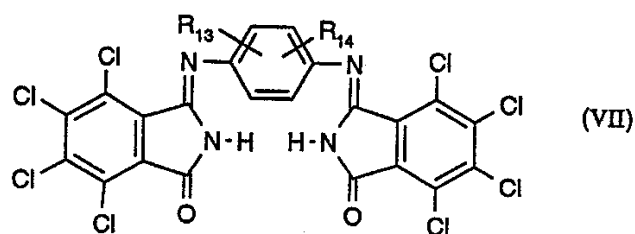
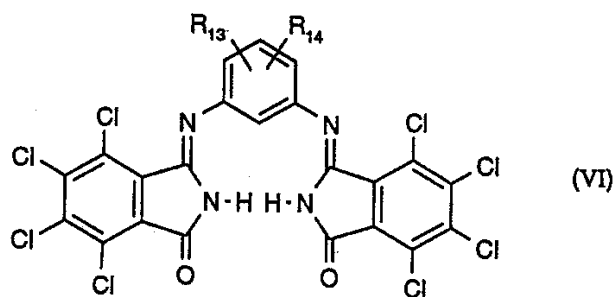


の基であり、

そして

R_9 及び R_{10} は、それぞれ互いに独立して、水素、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ、ハロゲン又はトリフルオロメチルである) のイソインドリン類；

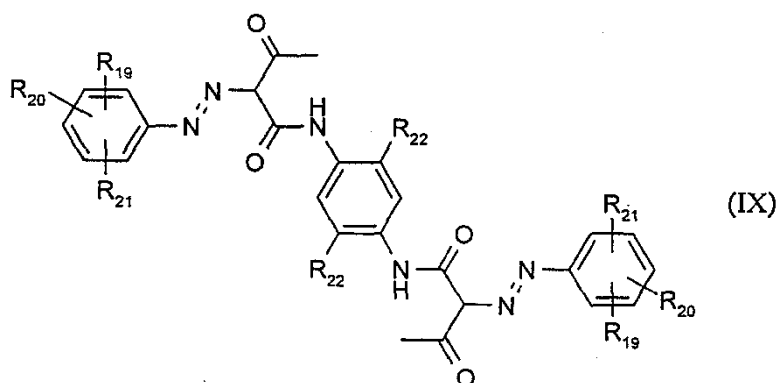
式 (VI) 又は (VII)：



(式中、

R_{13} 及び R_{14} は、それぞれ他と独立に、水素、ハロゲン又は $C_1\sim C_6$ アルキルである)のイソインドリノン類;及び

式(IX):

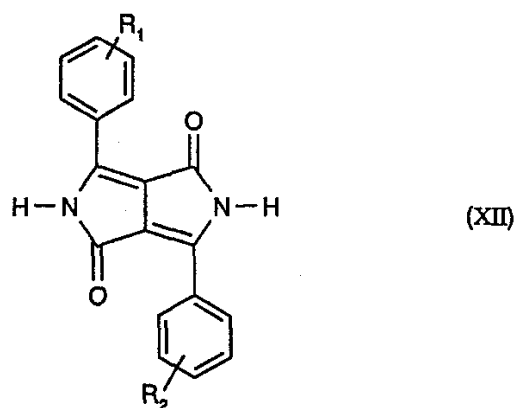


(式中、

R_{19} 、 R_{20} 及び R_{21} は、それぞれ互いに独立して、水素、ハロゲン、ニトロ、 $C_1\sim C_6$ アルコキシ、 $C_1\sim C_6$ アルキル、トリフルオロメチル、 $CONHR_{24}$ 又は SO_2NHR_{24} であり、そして

R_{22} は、水素、ハロゲン、ニトロ、 $C_1\sim C_6$ アルコキシ又は $C_1\sim C_6$ アルキルであり、そして

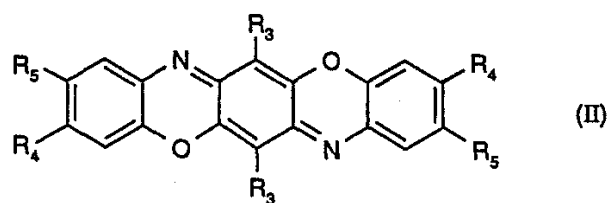
R_{24} は、水素、ハロゲン、 $C_1\sim C_4$ アルキル;又はフェニル、ナフチル、ビフェニル若しくはオキソビフェニル(それぞれは、非置換であるか、又はハロゲン、ニトロ、トリフルオロメチル、 $C_1\sim C_4$ アルコキシ及び $C_1\sim C_4$ アルキルからなる群から選ばれる1~3個の置換基で置換されている)のジスアゾ類の群から選ばれる鏡像対称の又は点対称の顔料である、請求項1記載の着色された材料。
3. 成分(a)若しくは(b)として又は更なる成分(c)として、式(XII):



(式中、

R_1 及び R_2 は、それぞれ互いに独立して、水素、ハロゲン、シアノ、カルバモイル、ニトロ、トリフルオロメチル、フェニル、 $C_1\sim C_6$ アルキル又は $C_1\sim C_6$ アルコキシである) のピロロ[3, 4-c]ピロール類；

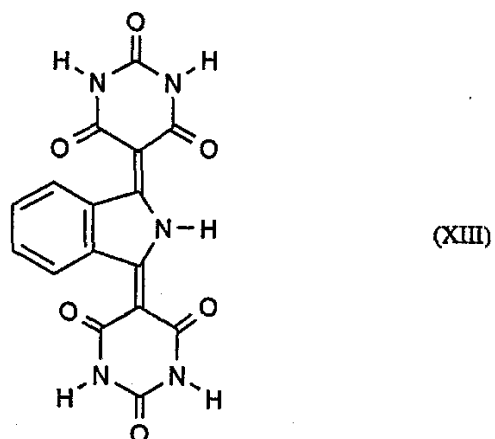
式 (II)：



(式中、

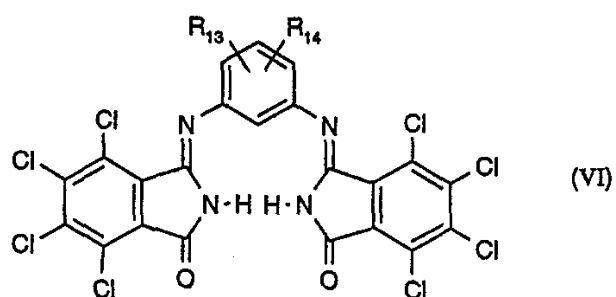
R_3 、 R_4 及び R_5 は、それぞれ互いに独立して、 $C_1\sim C_4$ アルコキシ、 $NHCO$ $C_1\sim C_4$ アルキル又は $NHCO$ フェニルであり、 R_3 、 R_4 及び R_5 の少なくとも一つは、 $NHCO$ $C_1\sim C_4$ アルキル又は $NHCO$ フェニルである) のジオキサジン類；

式 (XIII)：



のイソインドリン；

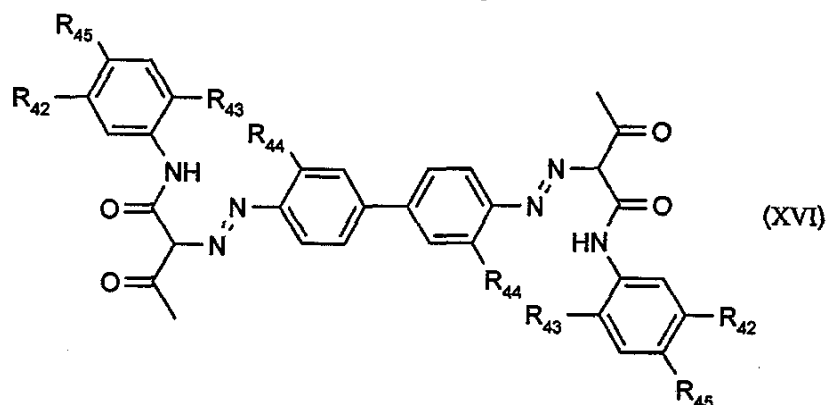
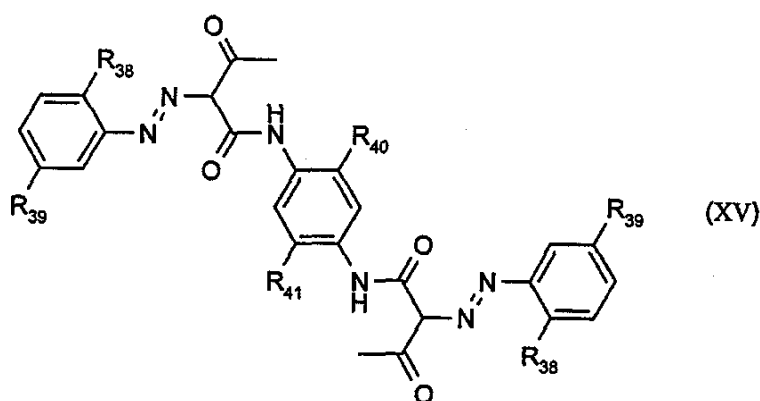
式 (VI)：



(式中、

R_{13} 及び R_{14} は、それぞれ互いに独立して、水素、ハロゲン又は $C_1 \sim C_4$ アルキルである) のイソインドリノン類；及び

式 (XV) 及び (XVI)：



(式中、

R_{38} 及び R_{39} は、それぞれ互いに独立して、水素、クロロ、 CONHR_{46} 又は $\text{SO}_2\text{NHR}_{46}$ であり、特に、 R_{38} は、クロロであり、そして

R_{39} は、 CONHR_{46} であり、

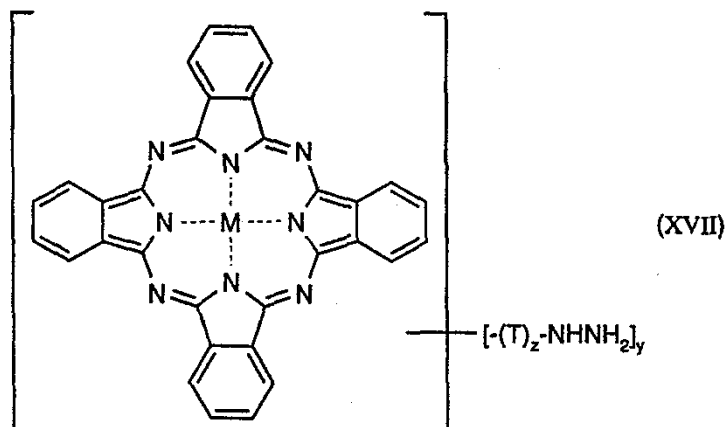
R_{40} 及び R_{41} は、それぞれ、水素、クロロ又はメチルであり、

R_{42} 、 R_{45} 及び R_{43} は、それぞれ互いに独立して、水素、クロロ、メチル又はメトキシであり、

R_{44} は、クロロ、メチル又はメトキシ、特にクロロであり、そして

R_{46} は、それぞれ、非置換又はクロロ、トリフルオロメチル、メトキシ及びメチルからなる群から選ばれる1～3個、特に2個の置換基で置換された、フェニル又はオキシビスフェニルであり； R_{46} は、特にそれぞれ、クロロ、トリフルオロメチル及びメチルからなる群から選ばれる2個の置換基で置換されたフェニル又はオキシビスフェニルである) のジスアゾ類；及び

式 (XVII)：



(式中、

Mは、 H_2 、又はCu (II)、Zn (II)、Fe (II) 及びNi (II) からなる群から選ばれる二価金属であり、

Tは、 $-CO-$ 又は $-SO_2-$ であり、そして

yは、1～4の数である) のフタロシアニン類；並びに

適切ならば、熱的又は光化学的分解の結果としての式 (XVII) のフタロシアニン類から得られるフタロシアニン誘導体類の群から選ばれる顔料を含む、請求項2記載の着色された材料。

4. その上に、請求項1記載の着色された材料の赤色、青色及び緑色の薄層をいかなる順序でよってもコーティングされた透明基質であって、

異なる着色層が、赤色、青色及び緑色の層のそれぞれがその面積の少なくとも5%において異なる色の層と重ならないようなパターンである基質。

5. 着色された媒体の手段により、放射線の一部分の選択的吸収により可視光線のスペクトルを変える方法であって、

着色された媒体として、透明基質上にコーティングされた、請求項1記載の着色された高分子量有機材料を用いることを含む方法。

6. カラーフィルターを製造方法であって、

マスクを通す照射によって、透明基質上にコーティングされた放射線感受性前駆体から組織化される、請求項1記載の材料を用いることを含む方法。